

(1) 下郷家住宅(千代倉本家)紅葉蔵、中蔵について

所在地：名古屋市緑区鳴海町字相原町 27 他

所有者：個人

名称	形式	建設年代	登録基準
下郷家住宅(千代倉本家)紅葉蔵	土蔵造二階建、 瓦葺	明治 24 (1891)年	国土の歴史的景観に 寄与しているもの
下郷家住宅(千代倉本家)中蔵	土蔵造二階建、 瓦葺	明治 26 (1893)年	国土の歴史的景観に 寄与しているもの

【概要】

東海道鳴海宿中心部にある商家の家財蔵 2 棟。紅葉蔵の外壁は黒漆喰塗で、腰は下見板張¹。2 階は北面に神棚を備え、太い地棟²に登り梁³形式の小屋をみせる。中蔵の外壁は漆喰塗で、腰は下見板張。小屋組は登り梁形式で、重厚な外観が紅葉蔵とともに商家の敷地景観を形成する。

¹ 下見板張 木造建築の外壁の横板張りで、上の板の下端を下の板の上端に少し重ねたもの。

² 地棟 屋根の最も高い所で、屋根面が接合する部分に取り付けられる棟木の下に置く太い木。

³ 登り梁 屋根組と兼用して両側の支柱の間を斜めに架け渡す横木。



下郷家住宅(千代倉本家)紅葉蔵(奥)、中蔵(手前)(株式会社千代倉提供)